

先週のマーケット動向(12月27日~12月31日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,186.9	1,189.3	1,182.7	1,188.8	+2.2
JPY/KRW	10.3795	10.3835	10.2885	10.3239	▲0.048
KOSPI	3,013.94	3,020.29	2,975.74	2,977.65	▲34.78

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は小幅に上昇した。先週末の米国休場や年末の閑散な取引でほぼ変わらずの1,186.9ウォンでオープン。27日、28日は輸出企業のドル売りや、外国人投資家と機関投資家の株買いにかかるウォン買いドル売りと、水準感のドル押し目買いでいってこいの展開となった。29日は海外市場での閑散な動きを受けて前日比ほぼ変わらずの水準でオープンした後は、年末の輸出企業のドル売りで、狭いレンジではあったもののじりじりとドル/ウォンは下落し、1,186.5ウォンでクローズした。取引最終日の30日は午前中は輸出企業のドル売りがしっかり入り、ドル/ウォンは1,184ウォンを中心に上値重くもみ合い。しかし、KOSPIが午後に下落幅を拡大する一方で、午後にアジア市場でドル高に転じるとドル/ウォンもそれに連れて上昇し、結局先週末対比2.2ウォン上昇した1188.8ウォンでクローズした。

今週の見通し

今週のドル/ウォン相場はやや底堅い展開を予想する。今週は米国で重要経済指標の発表が相次ぐ中、良好な結果となれば米国の更なる早期利上げ観測が意識される形となる。また、楽観姿勢が広がりつつあるものの、欧米での新型コロナウイルスの感染者数は依然高止まりしていることやオミクロン株への懸念にかかるリスクオフ、米国の早期利上げ観測によるここもとの米金利上昇を勘案し、今週のドル/ウォンはやや底堅い展開を予想する。

予想レンジ

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1180 - 1210	10.15 - 10.50	114.2 - 116.5

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



今後の予定

- 3日(月) 米 12月 製造業 PMI 確報値
欧 12月 製造業 PMI 確報値
- 4日(火) 米 12月 ISM 製造業景況指数
- 5日(水) 欧 12月 サービス業 PMI 確報値
米 12月 サービス業 PMI 確報値
米 12月 ADP 雇用統計
米 FOMC 議事録
- 6日(木) 米 11月 耐久財受注 確報値
米 11月 製造業受注
米 12月 ISM 非製造業景況指数
中 12月 総合 PMI
中 12月 サービス業 PMI
- 7日(金) 欧 12月 消費者信頼感指数 確報値
米 12月 非農業部門雇用者数
米 12月 失業率
日 12月 東京都区内 CPI